

自民党市議団

議会報告



市議会議員

堀すみのり

No. 54

自由民主党鹿児島市議会議員団

2019年1月発行

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
TEL.099(216)1435 FAX.099(222)4771

本年四月三〇日に、今上天皇が譲位し、皇太子さまが五月一日に天皇に即位され、改元することが決まりました。このことにより、私達は、平成最後の新春を迎えたところでございます。本年が皆様方にとりまして素晴らしい年であることを祈念申し上げます。昨年を振り返るとき、感動と衝撃を覚えた一年でありました。平昌オリンピック・パラリンピックや、ジャカルタ・アジア大会での、若きアスリートたちの活躍に大変な興奮を覚えたところでもあります。また、プロテニスプレーヤー大坂なおみ選手の「全米オープンテニス」での優勝や、プロゴルフファーストでの優勝や、プロ初優勝など、若い世代の大活躍に大きな感動を受けたところでもあります。一方、漢字一文字「災」に表された様に、台風・地震・豪雨・猛暑などの相次ぐ天災に、大きな衝撃を受けたところでもあります。

今年一年がどの様な年になるのか、誰も予測はできません。「災い転じて福となす」の故事どおり、今年一年が安心安全な社会であることを願うばかりです。今、国際社会においては「米中の貿易戦争」や「イラン制裁」「北朝鮮問題」など、多くの不安材料を抱える中で新たな年を迎えました。国内事情においても、「憲法改正」「尖閣諸島・北方領土・竹島」「消費税増税」「少子高齢化」等の、様々な問題が山積している状況にあります。これ等の課題をクリアすべく、安倍政権の真価が問われているところであります。



「猪突猛進」今年は、私も年男です!!
旧麓お達者クラブ製作

「平成」から新元号へ
新たな時代に夢を託して!!

設「路面電車観光路線検討」等の、課題解決にむけて取組んでいかなければならないところでもあります。今年も、自民党市議団は丸となって、各施策の実現に取組んでまいります。

今回の補正予算は、市単独の公共事業費と、市債管理基金への積立金及び人事異動等に伴う職員の給与費の所要額の計上で、補正額37億8,246万6千円を追加し、
総額で2,572億9,146万3千円となりました。

補正予算の主な内容

(単位：千円)

費 目	事 業 内 容	補正額
総 務 費	近代文学館・メルヘン館駐車場整備事業	233,411
	市債管理基金積立金	2,778,000
	「愛して!! かごしま」ふるさと寄附金サポート事業	36,813
民 生 費	介護老人福祉施設等整備費補助金 (認知症高齢者グループホーム4ヶ所 外)	199,700
土 木 費	道路維持事業 (川上2号線70m、崎田線53m、山下比良線75m含む)	36,000
	側溝整備事業 (中名停車場線36m、街道上門口線59m含む)	84,000
教 育 費	美術館駐車場整備事業	233,410
災害復旧費	農業用施設等災害復旧事業	50,000
	公共土木施設災害復旧事業	30,000
	その他公共施設等災害復旧事業	43,000

条例その他の案件

- 公の施設の指定管理者の指定に関する件（10件）
(市営住宅など124施設の指定管理者を指定)
- 自動車購入の件
(観光地周遊バスの購入)
- 工事請負契約締結の件（2件）
(奥之宇都線宇都トンネル本体工事及び中山小学校校舎増築その他本体工事の請負契約の締結)
- 公有水面埋立てについての意見に関する件
(鹿児島市吉野町字花倉地先の公有水面を埋め立てるについて、県知事から意見を求められたので、これに対する回答)
- 鹿児島市景観条例一部改正の件
(歴史と文化の道地区を景観形成重点地区に指定し、同地区における届出対象行為等を定めるとともに新たに一定規模の建築物の建築等に係る事前協議制度を設けるもの)
- 鹿児島市営住宅条例一部改正の件
(大明丘住宅を建て替えるため、同住宅30戸を廃止するもの)
- 鹿児島市議会議員及び鹿児島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例一部改正の件
(公職選挙法の一部改正に伴い、新たに選挙運動用ビラの作成に要する経費を公費で負担するとともに、題名等を改めるもの)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
(固定資産評価審査委員会委員1名の選任同意)

堀すみのり議員の個人質疑から

◎乗合タクシーについて

質疑 ●乗合タクシーの新規導入又は「あいばす」から乗合タクシーへの変更についての、他地域からの要望及び今後の乗合タクシーの運行地域拡大の考えは

答弁 ○乗合タクシーの導入については要望があるが、現在、新たな導入計画はない。なお、あいばすからの変更については、利用状況や効率性等を考慮しながら、検討してまいりたいと考えている。

◎観光農業公園に関して

質疑 ●生産農場(豚舎)の建設により、すべての民間参画ゾーンの運営がなされるわけであるが、今後における観光農業公園に寄せる市長の思い、決意は

答弁 ○観光農業公園におけるゼロエミッションの取組みが強化されることから、施設の更なる魅力向上につながるものと考えている。今後においても、グリーン・ツーリズムの拠点施設として、増加しつつあるインバウンド対応を進めるとともに、12月から配置した地域おこし協力隊員と一緒に、情報発信や魅力向上に努め、都市と農村の一層の交流拡大と、喜入地域の更なる活性化につなげてまいりたいと考えている。

◎学校規模適正化・適正配置に関連して

質疑 ●説明会参加者数・説明会で出された意見・アンケート調査結果に対する教育長の見解

答弁 ○小規模校や過小規模校(888人参加・85%)では、適正規模校等より多くの方に参加いただき、様々な意見も出たことから、関心が高かったものと考えている。アンケートの結果から、基本方針については、一定の理解はいただけたものと考えているが、説明会等での意見を踏まえ、今後、保護者や地域の方々と認識の共有を図り、検討していく必要があるものと考えている。

質疑 ●学校規模適正化・適正配置に関する提言第7章第1項第3号の提言内容は

答弁 ○教育委員会は、保護者や地域の方々と意見交換を十分に行い、合意形成に努め、合意が得られた場合は、学校の規模適正化・適正配置の実現に向けて、迅速かつ丁寧に取り組み、保護者や地域の方々に生じた疑問や不安等についても、できる限り解消できるよう努めていく必要があると、されている。

質疑 ●保護者や地域の合意形成は必須であり、合意形成がなければ事業は先に進めないと解してよいか

答弁 ○保護者や地域の方々と意見交換を十分に行い、合意形成に努めていく必要があるという提言をいただいているので、こうした点にも留意し、今後とも、保護者や地域の方々の意見等を十分踏まえる中で、子供たちのよりよい教育環境づくりに向けて、検討を進めていく必要があると考えている。

質疑 ●1人でも2人でも児童数を増やすため、特認校制度を積極的に推進する必要があると考えるが

答弁 ○学校管理研修会において、制度の周知を図るとともに、保護者からの相談にも対応している。今後とも特認校に関する市や学校のホームページを充実させるなど、制度の周知・広報に努めてまいりたい。



観光農業公園(グリーンファーム)の利用者増のための、 さまざまな取組の紹介!!

グリーンファームの過去3年間の来園者数年間の平均は約19万人となっています。同様に体験者数は、農業体験17,800人、調理体験7,500人、自然体験9,600人、環境学習1,900人の体験がなされています。

現在、グリーンファームでは職員一丸となって、利用者増を図るために、様々な取組みがなされています。

平成30年度は、新たに「Run Runトレイルかごしま in グリーンファーム2018」や「喜入旧麓れきしフラットパスウォーク&グリーンファーム森カフェ体験」を開催し、新規来園につなげています。さらに、従来の季節イベントやキャンプフェスタなどは、内容の充実を図っており、来園者数も昨年に比べ、約15,000人増加しているとのこと。

また、昨年12月から配置された地域おこし協力隊員が、グリーンファームでの企画・運営に加わったことで、さらなるイベントの充実が図られていくものと期待を致します。グリーンファームの新たな魅力を発見してみたいかがでしょうか。



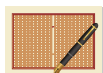
秋の里山フェスタ(ジャガイモ収穫体験)



編集 後記

NHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」の放映が終了いたしました。「敬天愛人」の遺訓は、多くの人々から座右の銘として親しまれています。「天を敬い人を愛する」ところを、私達も持ち続けていきたいものです。

さて、今年は「猪突猛進」の「亥」年です。「猪突猛進」とは、周囲に人のことや状況を考えずに、一つのことに向かって猛烈な勢いで突き進むこと、といわれています。身勝手なところがある、というネガティブな意味を持った言葉です。私もこの一年を「心して」取組んでいきたいと思うところです。



※市政に対するご意見・相談等は、

堀 純則 (099-343-0823) へ TEL・FAX ください。